

<霊的備え>

私はいつも 主を前にしています。

主が私の右におられるので 私は揺るがされることがない。

それゆえ 私の心は喜び 私の胸は喜びにあふれます。

私の身も安らかに住みます。

(詩篇 16:8-9)

<理解の手引き>

ここには、カインのその後の子孫と歴史について記されています。その中でも特筆すべき人物はレメクです。レメクとは「強い者」という意味があります。

彼は、まさにその名の通り、自分の力を誇り、神なき文化の代表者のような存在です。そして、レメクの子孫はこの神なき文化を発展させていったといえます。文化そのものは決して悪ではありませんが、神を抜きにして追求され、発展していくと、その欲求自身が自己目的化し、神として崇められるようになる危険があります。

レメクは、妻たちの前で、復讐の歌を歌います。しかし、自分の手による復讐は、結局争いをもたらします。神なき文化、文明の発達には、人間の道徳性の向上につながるというよりも、むしろ人の心を神から引き離し、道徳的退廃や戦争へと、人類をひきずりこんでいく危険があります。

<考えてみよう>

(観察) レメクの子供達は、それぞれどのような者になりましたか？

.....

.....

.....

(解釈) これらの文化が、誤った方向に向かうのは何故でしょうか？

.....

.....

.....

(適用) 私達の職業や芸術、科学、文化などが正しく用いられるためには何が必要ですか？

.....

.....

.....

<心に残ったみことばや気づき>

.....

.....

.....

<今日の祈り> (教えられたことを短い祈りで表す)

.....

.....

.....